

第2次
遠野市スポーツ推進計画
(令和3年度～令和7年度)

令和3年2月

遠 野 市

目 次

第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨 1
- 2 計画の位置付け 1
- 3 計画の期間 2

第2章 前計画の取組みと実績

- 1 生涯スポーツの推進 3
- 2 競技スポーツの推進 5
- 3 スポーツ環境の充実 6
- 4 ホストタウン活動とスポーツツーリズムの推進 7

第3章 基本理念と基本方針

- 1 基本理念 8
- 2 基本方針 8
- 3 施策の体系図 9

第4章 施策の展開

- 1 生涯スポーツの推進 10
- 2 アスリートスポーツの振興 13
- 3 地域を活性化させるスポーツの推進 15
- 4 共生社会の実現に向けたスポーツの推進 17
- 5 スポーツ環境の充実 19

第5章 計画の推進と進行管理

- 1 計画の推進 21
- 2 計画の進行管理 21
- 3 計画の評価・見直し 21

第6章 資料編

- 1 各種委員 22
- 2 スポーツ団体 23
- 3 体育施設別利用状況 27

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市では、第2次遠野市総合計画前期基本計画で位置付けられた健康づくりやスポーツ推進施策の基本的な方向性を示すため、「スポーツがもっと楽しくなる」を基本理念とした遠野市スポーツ推進計画を平成30年2月に策定し、総合的かつ計画的なスポーツの推進に努めてきました。

国は、平成29年3月に第2期スポーツ基本計画を策定し、「スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life」を基本方針に、一億総スポーツ社会の実現のため、スポーツ参画人口の拡大に取り組んでいます。

県では、希望郷いわて国体・いわて大会やラグビーワールドカップ2019TM釜石開催などによる県民のスポーツに対する機運を好機とし、スポーツの推進による県民の幸福で豊かな暮らしの実現のため、「スポーツの推進による県民誰もが健やかに輝く岩手の創造」を目指す姿とし、平成31年3月に「岩手県スポーツ推進計画」を策定しました。

時代は令和へと移り、56年ぶりとなる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控えた矢先、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、当たり前のようにあったスポーツのある日常は大きく脅かされました。新しい生活様式のもと、スポーツの価値やスポーツができる喜びを市民と共有しながら、スポーツが「健やかに人が輝くまちづくり」に資するための基本的な方向性を示すため、「第2次遠野市スポーツ推進計画」を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定される地方スポーツ推進計画及び第2次遠野市総合計画後期基本計画の個別計画として策定するものであり、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。

3 計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とします。

	H28	H29	H30	H31 R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	
国		第2期スポーツ基本計画									
県				岩手県スポーツ推進計画							
市	第2次遠野市総合計画前期基本計画					第2次遠野市総合計画後期基本計画					
本計画			遠野市スポーツ推進計画			第2次遠野市スポーツ推進計画					



第2章 前計画の取組みと実績

平成30年度から令和2年度までの3年間を計画期間とした「遠野市スポーツ推進計画」では、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を推進するため、「スポーツがもっと楽しくなる」を基本理念とし、その実現に向けた4つの基本方針を定めて、事業を展開してきました。

1 生涯スポーツの推進

(1) スポーツ参画人口の拡大

- ア 市民センターを会場に、「水中ウォーキング・エクササイズ・リズム体操」の3コースによる健康スポーツ教室を開催し、運動するきっかけや機会を提供して、運動習慣の定着化や参加者同士の仲間づくりに努めました。
- イ 市が委嘱するスポーツ推進委員を対象とした研修会などへの参加を推進し、資質の向上を図りました。
- ウ 遠野市体育協会を構成する各町体育協会や各種目別協会と連携した町民運動会や市民野球大会、継走大会などの市民大会を開催し、スポーツの実施の場と地域住民の交流の促進を図りました。

(2) 子どもの運動習慣の確立と体力の向上

- ア 小学校の体育の授業に外部講師を派遣し、専門的な指導による児童の運動能力の向上や大会出場選手の強化に努めました。
- イ 各保育園等でリズム体操教室を行う「キッズ元気アップ応援隊事業」を開催し、未就学児のバランス感覚や運動能力の向上を図りながら、運動習慣のきっかけづくりに取り組みました。
- ウ スポーツ少年団の活動や大会出場への支援に取り組むとともに、交流会や指導者講習会の開催による横の連携を図りました。

(3) 健康長寿社会や共生社会の実現

- ア 遠野市老人クラブ連合会と連携したスポーツ大会を開催し、高齢者の運動機会の創出に取り組みました。

イ 児童生徒を対象とした障がい者体験や、障がい者とのコミュニケーションによる障がい理解教室をはじめ、パラアスリートを講師とするワークショップなどを実施し、障がい者に対する理解を深めました。

【目標と実績】

項目	年度別目標と実績			
	区分	H30	R 1	R 2
【まちづくり指標】 健康スポーツプログラム参加者数	目標値	2,100 人	2,100 人	2,100 人
	実績	3,280 人	2,249 人	—
【まちづくり指標】 キッズ元気アップ応援隊参加者数	目標値	1,550 人	1,550 人	1,550 人
	実績	1,530 人	1,443 人	—
町民運動会参加率	目標値	19%	20%	21%
	実績	19%	18%	※中止

※新型コロナウイルス感染防止対策により中止



2 競技スポーツの推進

(1) アスリートの育成

- ア 競技団体等が、全国大会に出場経験のある指導者又はプロスポーツ選手経験のある指導者を招き、児童生徒を対象として実施するジュニアスポーツレベルアップ事業により、サッカーや陸上競技などで好成績を収めました。
- イ 遠野市体育協会を通じて、各種目別協会への活動のほか、県民体育大会や全国大会の出場に対し支援を図り、市民のスポーツ意欲の向上を図りました。
- ウ 民間企業等と連携した指導者講習会を開催し、指導者のスキルの向上に努めました。
- エ 次世代スポーツ選手全国大会等出場補助金を設け、大会参加への支援の充実を図りました。

【目標と実績】

項目	年度別目標と実績			
	区分	H30	R 1	R 2
県民体育大会ベスト3以上	目標値	5種目	5種目	5種目
	実績	5種目	7種目	※中止

※新型コロナウイルス感染防止対策により中止



3 スポーツ環境の充実

(1) スポーツに親しむ場の確保

ア 地域の身近なスポーツ活動場所の確保のため、全小中学校の体育施設を開放及び生涯学習スポーツ施設の維持管理に取り組みました。

(2) スポーツ施設の充実

ア 運動公園について、人工芝の摩耗が激しかったテニスコート2面を改修したほか、老朽化が進んだ野球場の屋外照明設備操作盤を更新し、施設の長寿命化を図るとともに、快適で安心安全な施設提供に努めました。

イ 国体記念公園市民サッカー場のクラブハウスの建設及びB面を人工芝に整備し、身近にスポーツを楽しむことができる環境整備や地域活性化を図りました。

【目標と実績】

項目	年度別目標と実績			
	区分	H30	R 1	R 2
【まちづくり指標】 スポーツ施設利用者数	目標値	205,400人	205,600人	205,800人
	実績	218,463人	199,168人	—



4 ホストタウン活動とスポーツツーリズムの推進

(1) ホストタウン活動

- ア 東京パラリンピック競技5人制サッカーブラジル代表チームの事前合宿を受け入れ、合宿期間中における選手の中学校訪問、郷土芸能体験を実施したほか、市民参加の歓迎交流会及びお別れ会を開催し、多くの市民が交流を深めました。
- イ 市内の小中学校及び高等学校では、ブラジルの文化やブラインドサッカーの体験授業を実施し、歴史や文化、スポーツなどの多様な分野においての理解を深めました。

(2) スポーツツーリズムの推進

- ア スポーツ等合宿支援事業費補助金を創設し、宿泊業者等と協働しながら、市外からのスポーツ合宿の受入れによる地域活性化を図りました。
- イ 県や近隣市町村と連携し、スポーツ合宿の誘致に取り組みました。
- ウ サッカーの東北大会をはじめ、各種目における県大会やイベントを開催し、スポーツ施設の利活用を図るとともに、おもてなしサービスによる市のPRに努めました。
- エ 遠野じんぎすかんマラソンの内容を充実させ、参加者の拡大を図りました。

【目標と実績】

項目	年度別目標と実績			
	区分	H30	R 1	R 2
スポーツ合宿の誘致	目標値	1件	2件	3件
	実績	1件	3件	—
県大会以上の大会またはスポーツイベントの誘致	目標値	4件	4件	4件
	実績	5件	6件	—

第3章 基本理念と基本方針

1 基本理念

スポーツへの関わり方には、自らが健康増進や仲間との交流等を目的とすることや、競技として成績を挙げることを目的とする「するスポーツ」、トップアスリートによるハイレベルな技やスピード、パワーに感動する「みるスポーツ」、自らの意思でスポーツを支援する「ささえるスポーツ」があります。

それらによってもたらされる楽しさや喜びをみんなで享受することが、スポーツの価値となり、人生を楽しく健康的で生き生きとしたものにすることでさらなる好循環を生み出し、その価値はますます高まっています。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、本市においてもスポーツ活動の制約を受け、市民の活力が削がれる事態となりました。改めてスポーツが人々に様々な恩恵を与え、市民生活の礎となっていることを鑑み、今後もこれまでのスポーツを「する」「みる」「ささえる」取組みを、新たな生活様式などを踏まえながら、継続させていきます。

このことから、本計画の基本理念を「スポーツで市民が元気に」として、遠野市民憲章に掲げる「心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります」の実現を目指します。

基本理念 「スポーツで市民が元気に」

2 基本方針

基本理念の実現に向けて、次のとおり基本方針を定めます。

- 1 生涯スポーツの推進
- 2 アスリートスポーツの振興
- 3 地域を活性化させるスポーツの推進
- 4 共生社会の実現に向けたスポーツの推進
- 5 スポーツ環境の充実

3 施策の体系図

市民憲章	総合計画大綱2	基本理念	基本方針	基本的施策	具体的施策
心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくりまします	健やかに人が輝くまちづくり	スポーツで市民が元気に	1 生涯スポーツの推進	(1) スポーツに取り組むきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズ元気アップ応援隊事業 ・エクササイズ教室の開催 ・ICT健康づくり事業の参加者の拡大
				(2) 継続的なスポーツ活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の育成 ・総合型地域スポーツクラブの支援
				(3) 市民スポーツイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・主要市民大会の開催
			2 アスリートスポーツの振興	(1) ジュニアアスリートの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童運動能力アップトレーニング事業 ・スポーツ少年団への支援 ・ジュニアスポーツレベルアップ事業
				(2) 大会参加支援	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代スポーツ選手全国大会等出場支援 ・県民体育大会への出場支援
				(3) 指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催
			3 地域を活性化させるスポーツの推進	(1) スポーツ合宿の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿実施団体への支援 ・誘致活動の推進 ・受け入れ態勢の整備
				(2) スポーツツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県南広域圏での連携事業の推進 ・大会・スポーツイベント等の開催支援
				(3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン活動の推進
			4 共生社会の実現に向けたスポーツの推進	(1) 障がい者スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する意識啓発 ・児童生徒の社会性、人間性の育成 ・障がい者スポーツの環境整備
				(2) 障がい者スポーツ・共生社会推進の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の育成 ・ボランティアの育成
			5 スポーツ環境の充実	(1) スポーツ施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利活用と計画的な改修 ・生涯学習スポーツ施設の維持管理 ・学校施設開放の活用

第4章 施策の展開

1 生涯スポーツの推進

生涯スポーツとは、健康の保持増進やレクリエーションを目的として、いつでも、誰でも、どこでも気軽に参加できるスポーツです。

自分のライフスタイルや興味に応じた取組みは、健康で充実した日常生活や人との交流などを生み出し、生きがいへとつながっていきます。

近年のライフスタイルの多様化が進む中で、いかに市民のニーズを捉え、スポーツを始めるきっかけづくりや継続する場を提供していくことが必要となっています。

市民がそれぞれの体力や年齢、目的等に応じて、いつまでもスポーツに楽しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、次の施策を推進します。

【施策の方向】

(1) スポーツに取り組むきっかけづくり

ア キッズ元気アップ応援隊事業

市内の保育園・幼稚園・こども園などを会場に、園児及び未就学児並びに保護者を対象としたリズム体操等の教室を開催し、バランス感覚や運動能力の向上を図ります。

イ エクササイズ教室の開催

市民センター施設を活用した運動教室を開催し、運動の動機づけから日常生活での運動習慣の定着を図るとともに、参加者同士の交流によるスポーツ参画人口の増加に努めます。

ウ ICT健康づくり事業の参加者の拡大

これまでのICT健康づくり事業をさらに進展させるため、全国で同様の事業に取り組む自治体と連携し、事業の周知徹底を図るとともに、引き続き参加者の拡大を目指し、医療費の削減と健康寿命の延伸に努めます。

(2) 継続的なスポーツ活動への支援

ア スポーツ推進委員の育成

スポーツ基本法により、スポーツ推進委員は、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものと定められています。

県や東北地区で開催される研修会への参加の促進やスポーツ講習会等を実施しながら、スポーツ推進委員の資質の向上に努めます。

イ 総合型地域スポーツクラブの支援

各町に創設されている総合型地域スポーツクラブについては、県広域スポーツセンター等と連携し、活動の状況や課題を把握し、運営の改善と活性化を図ります。

(3) 市民スポーツイベントの開催

ア 主要市民大会の開催

各町での町民運動会の開催を支援し、市民の運動機会を提供するとともに、活発な地域づくり活動への進展を図ります。

また、身近で気軽に参加できるアスリートスポーツとして、各種目の市民大会を、遠野市体育協会ほか各種目別団体や民間団体などと連携しながら、大会の成功に向けて取り組みます。



【目標】エクササイズ教室参加者数・キッズ元気アップ応援隊参加者数

生涯スポーツに関する教室を開催し、健康寿命の延伸を図ります。

項目	年度別目標					
	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
エクササイズ教室 参加者数	2,249人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人
キッズ元気アップ 応援隊参加者数	1,443人	1,550人	1,550人	1,550人	1,550人	1,550人

【目標】ICT健康づくり事業参加者数（まちづくり指標）

現状から会員による口コミを強化し、800人以上の新規参加者の確保を目指します。

項目	年度別目標					
	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
【まちづくり指標】 ICT健康づくり 事業参加者数	1,279人	1,800人	1,900人	2,000人	2,100人	2,100人



2 アスリートスポーツの振興

地域住民がスポーツで活躍する姿は、市民に夢や感動を与え、明るく活力ある社会の形成に寄与します。

特に、児童生徒におけるスポーツ活動は、個人及びチームの目標に向かって鍛錬することを通じた健全育成の場にもなっています。

また、成年層においても、練習や大会出場を通じて、選手同士や世代間、地域間の交流が促進され、スポーツ参画人口の拡大とともに、地域づくり活動への波及効果も期待されます。

子どもから大人までが、それぞれの目標をもって行うアスリートスポーツの振興のため、次の施策を推進します。

【施策の方向】

(1) ジュニアアスリートの育成

ア 児童運動能力アップトレーニング事業

児童の運動能力向上に結びつけるとともに、スポーツに対する意欲や関心を高めるため、希望する市内小学校に外部講師を派遣します。

イ スポーツ少年団への支援

各地域や競技別で構成されているスポーツ少年団の活動や大会出場等に支援し、各競技のレベルアップとともに、子どもたちの健全育成を推進します。また、交流会や講習会を開催して、団員及び指導者間の交流と技術等の向上を図ります。

ウ ジュニアスポーツレベルアップ事業

児童生徒が所属するジュニアスポーツ団体の競技レベルの向上を図ることにより、児童生徒の健全育成および地域の活性化を推進します。

(2) 大会参加支援

ア 次世代スポーツ選手全国大会等出場支援

市内の子どもたちが予選などを突破して出場する全国大会や国際大会について、大会の内容に応じた支援を行います。

イ 県民体育大会への出場支援

県レベルでの各種目の技術等を競うことにより、スポーツに取り組む動機づけとなることから、多くの種目への参加と上位入賞につながるよう、練習に係る施設利用や参加に係る経費を支援します。

(3) 指導者の育成

ア 講習会の開催

各競技において必要な技術やメンタル、栄養学などに関する講習会を開催し、指導者の養成とスキルアップを目指します。

また、県内などで開催される指導者講習会について情報発信に努め、参加を促します。

【目標】市内文化・体育振興団体からの受賞件数（まちづくり指標）

（一財）遠野市教育文化振興財団顕賞受賞（体育部門）・遠野市体育協会栄賞受賞件数を、現状に対し、毎年度2件の増加を目指します。

項目	年度別目標					
	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
【まちづくり指標】 市内文化・体育振興 団体からの受賞件 数	52 件	52 件	54 件	56 件	58 件	60 件

3 地域を活性化させるスポーツの推進

本市には希望郷いわて国体や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という。）を契機に整備したスポーツ施設が多数あり、それら施設をスポーツイベント・合宿等で有効に活用しながら、国内外からの誘客の促進や交流人口の拡大といった、スポーツによる地域の活性化に取り組めます。

【施策の方向】

(1) スポーツ合宿の誘致

ア スポーツ合宿実施団体への支援

市外からのスポーツ合宿実施団体に対して合宿経費を支援し、市内におけるスポーツ合宿件数を増やし、交流人口の拡大を図るとともに、施設の利活用による地域の活性化を図ります。

イ 誘致活動の推進

岩手県が展開する「いわてスポーツコミッション」や、近隣自治体のコンベンションビューローなどと連携しながら、首都圏や東北管内の大学や旅行会社に対し、スポーツ合宿の誘致活動を推進します。

ウ 受け入れ態勢の整備

市内宿泊業者やスポーツ施設管理会社と連携したスポーツ合宿の情報発信に努めるとともに、スポーツ合宿に関する情報を交換しながら、受入体制を整えます。

(2) スポーツツーリズムの推進

ア 県南広域圏での連携事業の推進

岩手県と県南市町で構成する「県南広域圏スポーツ等連携事業実行委員会」において、マラソンなどによる連携を図り、スポーツによる交流を推進します。

イ 大会・スポーツイベント等の開催支援

令和4年に岩手県で開催される「日本スポーツマスターズ2022」のサッカー競技を誘致し、大会開催の機運醸成や運営支援などを行います。

このほかにも、各競技団体と連携し、各種目の県・東北・全国大会の誘致を図ります。

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進

ア ホストタウン活動の推進

東京2020大会に係るホストタウン交流の一環として、相手国ブラジルの事前合宿を誘致するとともに、大会期間中は競技観戦やパブリックビューイングによる応援など、大会への市民の積極的な参加を促進します。

さらに、ホストタウンの取組みを契機として、大会後の継続的な相互交流を促進します。

【目標】スポーツ合宿誘致件数（まちづくり指標）

市外からのスポーツ合宿による、交流人口と地域経済の拡大を図るため、令和7年度までに6件の合宿誘致を目指します。

項目	年度別目標					
	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
【まちづくり指標】 スポーツ合宿誘致 件数	3件	5件	5件	6件	6件	6件

4 共生社会の実現に向けたスポーツの推進

東京 2020 大会の開催は、障がいの有無にかかわらず、誰もが生き生きとした人生を享受することができる共生社会の実現のための絶好の機会であり、東京 2020 大会のレガシーとして共生社会を実現する必要があります。

スポーツの推進により障がい者・高齢者等の配慮が必要な方の社会参画が進み、障がいのある人もない人も、性別や年齢、国籍にかかわらず、共にスポーツを楽しむ機会を創出するとともに、市民誰もが互いを理解、尊重しながら生きる社会の実現を目指します。

【施策の方向】

(1) 障がい者スポーツの推進

ア 障がいに対する意識啓発

パラリンピアンや障がい者スポーツ競技団体の指導者等を講師とし、障がい者スポーツの体験を通じた交流により、障がいに対する意識を啓発します。

イ 児童生徒の社会性、人間性の育成

市内小中学校等と特別支援学校の児童生徒とのスポーツを通じた交流活動を推進することにより、児童生徒の社会性や豊かな人間性を育成します。

ウ 障がい者スポーツの環境整備

障がい者スポーツの推進を図るため、普及啓発に取り組むとともに、障がい者がスポーツを楽しく活動できる環境の整備・充実を図ります。

(2) 障がい者スポーツ・共生社会推進の担い手育成

ア 指導員の育成

障がい者スポーツの普及促進を図るため、障がい者スポーツの指導員を育成します。

イ ボランティアの育成

スポーツ大会や地域のスポーツ行事の運営等に生徒がボランティアとして関わる取組みを推進し、相手を思いやる態度や共助の心を育て、共生社会推進の担い手を育成します。

【目標】 障がい者スポーツ体験会開催件数

障がい者スポーツ体験会を開催し、障がいへの理解を推進します。

項目	年度別目標					
	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
障がい者スポーツ 体験会開催件数	2 件	15 件	15 件	15 件	15 件	15 件



5 スポーツ環境の充実

市民の誰もがいつでも楽しく安全にスポーツに親しむことができるよう、利用者ニーズに応じた施設環境の整備に努めるとともに、老朽化した施設については、計画的な改修・修繕に努めます。

【施策の方向】

(1) スポーツ施設の充実

ア スポーツ施設の利活用と計画的な改修

市民がそれぞれの体力や年齢、目的等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設の利活用の推進を図ります。

施設の改修に当たっては、遠野市公共施設等総合管理計画個別計画に基づいた、計画的な改修を進めるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設のバリアフリー化及び照明のLED化等の促進による省エネルギー化に努めることで、良好な安全対策と持続可能な市民サービスの提供の両立を目指します。

また、施設だけでなく、付帯設備等についても、定期的な点検・診断を実施するとともに、これまでの修繕等の履歴をもとにした予防修繕に取り組めます。

イ 生涯学習スポーツ施設の維持管理

小友・土淵・上郷の各生涯学習スポーツ施設の維持管理を行い、地域のスポーツ活動の場として提供します。

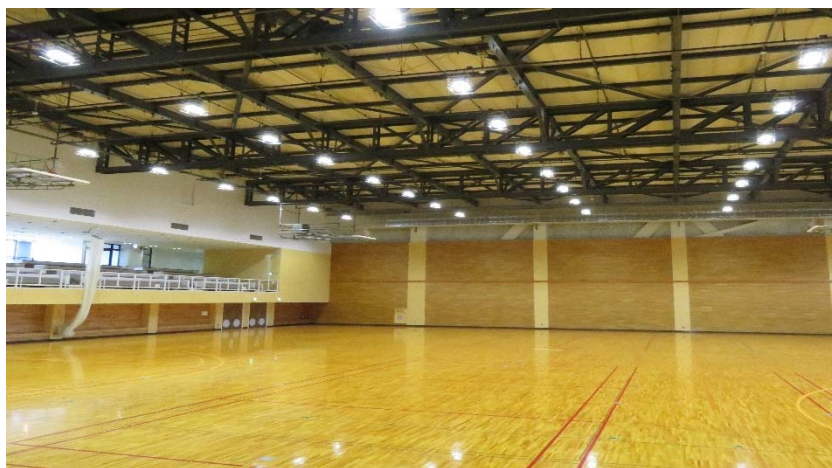
ウ 学校施設開放の活用

市内各小中学校の体育施設については、学校教育に支障のない範囲で施設を開放し、地域住民のスポーツ活動に提供します。

【目標】スポーツ施設利用者数（まちづくり指標）

市内スポーツ施設の利活用の推進により、現状に対し、毎年度 200 人増の利用者数を目指します。

項目	年度別目標					
	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
【まちづくり指標】 スポーツ施設利用者数	199,168 人	200,000 人	200,200 人	200,400 人	200,600 人	200,800 人



第5章 計画の推進と進行管理

1 計画の推進

本計画については、遠野市民センター運営協議会等を通じて共通理解を深め、関係する行政機関やスポーツ関係団体等と連携し、一体的な推進を図っていきます。

また、市ホームページなどを通じて計画の内容を発信し、市民やスポーツ関係団体等に周知しながら、スポーツの価値の普及・啓発に努めます。

2 計画の進行管理

本計画を着実に推進するため、設定された目標について、P D C Aサイクル（計画（P l a n）－実行（D o）－評価（C h e c k）－改善（A c t i o n））を取り入れ、計画の進行管理を行います。

3 計画の評価・見直し

本計画の進捗状況については、目標の達成状況や施策の取組み結果など、遠野市民センター運営協議会において、毎年度評価・検証を行うとともに、必要に応じて施策等の見直しを行うこととします。

第6章 資料編

1 各種委員

(1) スポーツ審議会委員（遠野市民センター運営協議会委員）

任期：令和2年6月1日～令和4年5月31日

No.	氏名	分野・所属
1	佐々木 正二	遠野町まちづくり協議会監事
2	箱山 勇	綾織町体育協会
3	菊池 章男	小友町まちづくり協議会長
4	石直 典高	附馬牛町地域づくり連絡協議会長
5	阿部 優一	松崎町第3区長
6	運萬 勇	土淵町第3区長
7	堀切 香代子	青笹町第3区長
8	平山 洋平	上郷町第9区長
9	八重樫 正昇	宮守銀河まちづくり協議会長
10	佐々木 和子	達曽部地域づくり連絡協議会副会長
11	昆 定治	鱒沢地域づくり会議会長
12	菊池 文正	（社福）遠野市社会福祉協議会常務理事
13	内館 充幸	遠野市体育協会理事
14	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会長
15	村上 洋子	遠野商工会女性部理事
16	佐々木 美紀	遠野市校長会
17	新田 光志	遠野市芸術文化協会副会長
18	佐々木 芳夫	遠野市少年委員協議会長
19	留場 榮一	遠野市老人クラブ連合会長
20	林 英道	遠野市文化財保護審議会会長
21	菊池 寿	遠野市健康福祉部長

※遠野市民センター条例第130条第1項第6号の規定による。

(2) スポーツ推進委員

任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日

No.	氏名	地区
1	佐藤 隆幸	上郷町
2	佐々木 清美	宮守町鱒沢
3	菊池 美紀子	青笹町
4	松田 富子	宮守町鱒沢

No.	氏名	地区
5	堀内 誠	松崎町
6	菊池 久人	宮守町鱒沢
7	白岩 邦子	松崎町
8	菊池 清一	遠野町
9	沖館 和男	土淵町
10	佐々木 志保	宮守町鱒沢
11	及川 司	上郷町
12	菊池 秀樹	附馬牛町
13	菊池 寿玄	松崎町
14	村上 邦明	附馬牛町
15	菅原 慎吾	綾織町
16	浅沼 高德	宮守町宮守
17	奥友 勝典	小友町
18	吉田 和也	松崎町
19	佐々木 正弘	宮守町達曾部

2 スポーツ団体

(1) 遠野市体育協会

No.	団体名
1	遠野市陸上競技協会
2	遠野市水泳協会
3	遠野市サッカー協会
4	遠野市バレーボール協会
5	遠野市バスケットボール協会
6	遠野市バドミントン協会
7	遠野市卓球協会
8	遠野市野球協会
9	遠野柔道会
10	遠野剣道会
11	遠野市スキー協会
12	早池峰山岳会
13	遠野市ソフトテニス協会
14	遠野市スケート協会

No.	団体名
15	遠野市ソフトボール協会
16	遠野市空手道連盟
17	遠野市ゲートボール協会
18	遠野市ボウリング協会
19	遠野市テニス協会
20	遠野市ゴルフ協会
21	遠野市グラウンド・ゴルフ協会
22	民話のまち遠野ウォーキング協会
23	遠野市ビリヤード協会
24	遠野市太極拳協会
25	遠野弓道会
26	遠野市マレットゴルフ協会
27	遠野市雪合戦協会
28	遠野町体育協会
29	綾織町体育協会
30	小友町体育協会
31	附馬牛町体育協会
32	松崎町体育協会
33	土淵町体育協会
34	青笹町体育協会
35	上郷町体育協会
36	宮守町体育協会

(2) 遠野市スポーツ少年団

ア スポーツ少年団（令和2年9月末現在）

No.	団体名	種目
1	松崎野球スポーツ少年団	野球
2	遠野剣道スポーツ少年団	剣道
3	上郷野球スポーツ少年団	野球
4	小友ベアーズ野球スポーツ少年団	野球
5	土淵野球スポーツ少年団	野球
6	遠野空手道スポーツ少年団	空手
7	青笹野球スポーツ少年団	野球

No.	団体名	種目
8	上郷空手道スポーツ少年団	空手
9	綾織野球スポーツ少年団	野球
10	遠野市スキースポーツ少年団	スキー
11	ヴァレンテとおのスポーツ少年団	サッカー
12	遠野一輪車クラブスポーツ少年団	一輪車
13	遠野馬の里乗馬スポーツ少年団	乗馬
14	遠野剣道童心会スポーツ少年団	剣道
15	遠野東チャレンジャースポーツ少年団	バレーボール
16	M. S. Cスポーツ少年団	野球
17	達曾部スポーツ少年団	野球
18	宮守空手道スポーツ少年団	空手
19	遠野西ベースボールクラブスポーツ少年団	野球
20	宮守卓球スポーツ少年団	卓球
21	遠野西バスケットボールスポーツ少年団	バスケットボール
22	銀河ソフトテニススポーツ少年団	ソフトテニス
23	オヴェンセ S C C スポーツ少年団	総合
24	岩手絆女子野球クラブスポーツ少年団	女子野球
25	Mario Vitoria FOOTBALL CLUB スポーツ少年団	サッカー
26	C・B・Pスポーツ少年団	野球
27	F C フォルタレオンスポーツ少年団	女子サッカー
28	m. m. b スポーツ少年団	バスケットボール
29	遠野剣道みらい館スポーツ少年団	剣道

イ スポーツ少年団登録者数の推移

	H27	H28	H29	H30	R 1
団員数	639 人	642 人	590 人	633 人	590 人
指導者数	168 人	182 人	182 人	173 人	167 人
団数	35 団	37 団	37 団	34 団	32 団

(3) 総合型地域スポーツクラブ

No.	団体名	設立年月日
1	とおのスポーツクラブ	平成 14 年 1 月 19 日
2	綾織スポーツクラブ	平成 14 年 4 月 1 日
3	小友スポーツクラブ	平成 14 年 3 月 31 日
4	早池峰スポーツクラブ	平成 6 年 5 月 24 日
5	松崎スポーツクラブ	平成 14 年 3 月 5 日
6	小烏瀬地域スポーツクラブ	平成 14 年 2 月 26 日
7	青笹スポーツクラブ	平成 14 年 3 月 26 日
8	上郷センニンスポーツクラブ	平成 14 年 3 月 8 日
9	宮守町総合型地域スポーツクラブ	平成 19 年 3 月 31 日
10	NPO法人オヴェンセ	平成 25 年 5 月 10 日

3 体育施設別利用状況

(1) ㈱遠野施設管理サービス管理施設

単位：人

施設名	H28	H29	H30	R 1
市民体育館	68,849	72,007	68,477	61,845
体育ホール	31,359	30,644	26,835	24,534
武道ホール	8,744	9,871	11,096	11,217
トレーニングルーム	11,495	12,641	11,789	10,820
ビリヤード	498	377	504	454
市民プール	16,753	18,474	18,253	14,820
市民サッカー場	44,877	41,531	48,032	40,760
A面	36,537	36,588	42,163	40,760
B面	8,340	4,943	5,869	※
早瀬川緑地運動場	20,247	18,325	16,918	18,560
早瀬川グラウンド	13,192	13,333	13,801	14,700
グラウンドゴルフ場	7,055	4,992	3,117	3,860
赤羽根スキー場	7,366	7,654	5,964	3,824
遠野運動公園	35,079	33,888	30,721	34,502
野球場	8,316	8,740	7,987	7,699
陸上競技場	8,721	8,062	7,492	9,500
多目的運動広場	7,577	5,349	5,344	6,196
テニスコート	6,708	5,574	5,281	5,254
軽スポーツ広場	3,757	6,163	4,617	5,853
稲荷下屋内運動場	20,292	20,431	20,394	15,862
宮守体育館	6,152	2,092	7,592	7,761
銀河の森総合運動公園	5,374	6,403	5,915	5,600
多目的グラウンド	1,615	2,061	2,478	2,453
テニスコート	1,988	2,108	1,500	1,349
ゲートボール場	614	699	818	675
森林体験交流施設	1,157	1,535	1,119	1,123
計	208,236	202,331	204,013	188,714

※クラブハウス建築工事及び人工芝整備工事のため、実績なし。

(2) 学校施設開放

単位：人

施設名	H28	H29	H30	R 1
遠野中学校	7,684	7,366	6,640	3,687
体育館	6,058	6,022	4,952	2,000
グラウンド	1,626	1,344	1,688	1,687
遠野東中学校	2,116	2,619	4,086	1,047
体育館	1,467	1,484	1,533	772
グラウンド	649	1,135	2,553	275
遠野西中学校	1,762	1,732	1,680	556
体育館	1,762	1,732	1,680	556
グラウンド				
遠野小学校	7,620	6,894	7,735	6,501
体育館	2,621	4,280	3,982	3,016
グラウンド	4,999	2,614	3,753	3,485
遠野北小学校	8,420	8,074	8,086	6,886
体育館	6,995	6,734	6,577	5,928
グラウンド	1,425	1,340	1,509	958
綾織小学校	261	796	246	458
体育館	261	796	246	458
グラウンド				
小友小学校	1,131		696	1,014
体育館	1,131		696	1,014
附馬牛小学校	1,404	987	2,469	1,619
体育館	1,299	728	1,655	1,099
グラウンド	105	259	814	520
土淵小学校	1,375	151		
体育館	581	151		
グラウンド	794			
青笹小学校	4,774	4,464	2,479	4,162
体育館	4,774	4,464	2,479	2,430
グラウンド				1,732

施設名	H28	H29	H30	R 1
上郷小学校	1,244	1,532	942	425
体育館	1,044	1,532	942	425
グラウンド	200			
宮守小学校	6,044	5,684	5,085	4,274
体育館	4,280	4,554	4,219	3,626
グラウンド	1,764	1,130	866	648
達曽部小学校	2,491	2,491	2,234	1,994
体育館	948	948	1,034	854
グラウンド	1,543	1,543	1,200	1,140
鱒沢小学校	1,434	1,341	673	111
体育館	794	773	401	38
グラウンド	640	568	272	73
計	47,760	44,131	43,051	32,734

(3) 生涯学習スポーツ施設

単位：人

施設名	H28	H29	H30	R 1
小友	4,625	2,125	3,173	2,175
体育館	2,216	1,109	1,986	1,080
グラウンド	2,409	1,016	1,187	1,095
土淵	6,769	5,822	6,002	3,586
体育館	5,784	4,436	4,603	2,334
グラウンド	985	1,386	1,399	1,252
上郷	5,426	7,058	5,275	4,693
体育館	3,587	4,272	2,591	2,521
グラウンド	1,839	2,786	2,684	2,172
計	16,820	15,005	14,450	10,454

(4) 地区センター

単位：人

施設名	H28	H29	H30	R 1
綾織	7,230	7,614	7,037	7,036
大集会室	3,478	3,643	3,265	3,103
トレーニングルーム	72	85	120	250
グラウンド	3,680	3,886	3,652	3,683
小友	808	1,310	967	
体育ホール	808	1,310	967	
附馬牛	4,788	4,295	490	420
集会ホール	4,788	4,295	490	420
松崎（福祉センター）	5,851	11,190	12,116	12,992
体育館	5,851	11,190	12,116	12,992
土淵	8,468	8,148	8,447	6,186
伝習ホール兼集会室	8,468	8,148	8,447	6,186
青笹	3,026	3,176	3,054	2,940
多目的ホール	3,026	3,176	3,054	2,940
上郷	4,411	6,783	6,384	5,060
体育ホール	4,411	6,783	6,384	5,060
計	34,582	42,516	38,495	34,634

(5) 清養園

単位：人

施設名	H28	H29	H30	R 1
清養園	2,670	2,654	2,791	1,288
スケート場	1,701	1,540	1,750	181
グラウンドゴルフ場	969	1,114	1,041	1,107

(6) 柏木平レイクリゾート

単位：人

施設名	H28	H29	H30	R 1
グラウンド	16,009	12,129	13,103	13,574

(7) 体育施設別利用状況合計

単位：人

	H28	H29	H30	R 1
合計	326,077	318,766	315,903	281,398